

復職支援講習会 I

日技生涯研修単位 申請中

[重要なお知らせ]

本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。

つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- 東京都歯科技工士会会員
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士

[申込開始日]

- 東京都歯科技工士会会員 : 9月12日(金) AM10時~
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 9月15日(月) AM10時~

*受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

[申込方法]

- ① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。
ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

*定員になり次第締切といたします。



申込用

[LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更＆追加報告をスムーズにさせるために都技ではLINE公式アカウントを設けています。LINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



都技LINE公式
アカウント二次元コード

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail : tog-info@to-ginet.com

2025年度

復職支援講習会 I

ハイブリッドセミナー

自社が取組むデジタル時代の歯科技工所経営スタイル

石澤 亮一 先生 (株)シンワ歯研 代表取締役社長／(有)ウィルデンタルラボ 会長)

『作り方のDX』で終わらせない! デジタルも取り入れた義歯製作のチームビルディング戦略

吉田 馨太 先生 (株)シンワ歯研新潟本社 副所長)

インプラントライブラリーを使用した上部構造製作の問題点と対策

小川 淳 先生 (株)シンワ歯研 本社所長)



Tokyo master course Science Lecture

[開催日]

2025年 10月12日

入室 12:40 開始 13:00 → 終了 17:00

オンライン

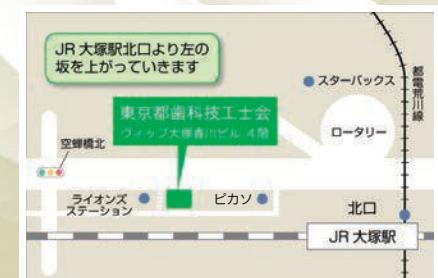
定員 80名 参加費 無料

会場受講

定員 30名 参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室

東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

自社が取組むデジタル時代の歯科技工所経営スタイル

2000年より歯科技工へのデジタル化が始まり、歯科技工所を取り巻く環境も大きく変わっていました。デジタル化の大きな潮流は不可逆的であり一層のデジタル時代を見据え、どういう方向で事業のスタイルを方向づけていくか、各技工所の考え方も多様化し、ラボオーナーの経営方針と経営スキルが重要となる。

加えて、歯科技工士不足は深刻でただでさえ少ない歯科技工士をいかに育成していくか、早い時期での戦力化を目指しつつ現実とのジレンマを感じている方も多いのではないかと推察される。歯科技工業

『作り方のDX』で終わらせない! デジタルも取り入れた義歯製作のチームビルディング戦略

演者らは15名のチームで義歯技工に取り組んでおり、2016年より3Dプリンターによるキャスティングフレジンを用いた維持装置製作、2021年からはデジタルコピーデンチャーを中心とした総義歯分野での臨床応用を進めてきた。これまでの経験から、デジタル技術は効率的である一方で、単に製作方法を置き換えるだけでは、真の臨床的価値は生まれないと痛感している。逆説的ではあるが、成功の鍵はアナログで培った義歯製作の「本質」の理解が重要ではないだろうか。

インプラントライブラリーを使用した 上部構造製作の問題点と対策

口腔内スキャナー(IOS)の進化に伴い、近年では光学印象したデータからインプラント上部構造を作成するケースが増えてきた。IOSには患者や歯科医師の負担軽減、作業の効率化など様々なメリットがあり、今後ますます普及していくことが予想される。

一方でコンベンショナルな手法と同様、それぞれのステップで正確な作業がなされなければ、最終的な完成物に誤差が生じることとなる。特に、①口腔内をスキャ

界のためにも将来の歯科技工士を育成していくことは、重要な責務であることは間違いない。

本講演では、アナログとデジタルの融合を図りつつ収益を確保し、設備投資をどのようにしていくか、悩みながらも経営の軸をどこに持っていくかなど、考えなくてはいけない課題が山積されている歯科技工業界において、歯科技工所経営という視点から、自社の経営スタイルを示しつつ、歯科技工所の経営の在り方について共有してみたい。

■講師略歴

石澤 亮一

[いしづわ りょういち]



- (株)シンワ歯研 代表取締役社長
- (有)ウィルデンタルラボ 会長
- (一社)日本歯科技工所協会 東支部支部長

略歴

- 1961年 新潟市出身
- 1983年 愛歯技工専門学校卒
- 2003年 (株)シンワ歯研
(有)ウィルデンタルラボ 代表
- 2013年 新潟大学大学院技術経営 (修士)

主な著作

- 2018年12月「5年目までに押さえておきたい67のポイント」(医歯薬出版)
- 2022年5月「デジタル技工入門61のポイント」(医歯薬出版)
- 2022年2月口腔内スキャナーの現在位置(ヒヨーロン・パブリッシュヤーズ)
- 2022年3月「口腔内スキャナーで変わる歯科医師との関係性」(ヒヨーロン・パブリッシュヤーズ)

■講師略歴

吉田 馨太

[よしだ けいた]



- (株)シンワ歯研 新潟本社 副所長
- BPS認定歯科技工士
- アイキャスト公認インストラクター (NMCD)

略歴

- 1980年 新潟県新潟市 生まれ
- 2000年 明倫短期大学卒業
- 2006年 (株)シンワ歯研入社
- 2024年 REAF RPDクラス履修
- 2025年 新潟大学大学院医歯学総合研究科
包括歯科補綴学分野 入学

所属学会

- 日本歯科補綴学会 会員
- 有床義歯学会 理事
- 磁気歯科学会 幹事

主な著作

- 2015年2月「臨床導入6年で振り返るノンメタルクラスプデンチャーの臨床」

- 2018年12月「5年目までに押さえておきたい67のポイント」(医歯薬出版)
- 2022年5月「デジタル技工入門61のポイント」(医歯薬出版)
- 2023年1月「データから見える症例傾向と歯科医師・歯科技工士間の連携のポイント」(ヒヨーロン・パブリッシュヤーズ)

主な講演

- 2018年07月「アイキャストワールド2018 ラボサイドから見たノンメタルクラスプデンチャー～患者満足のために考えるべきポイント～」
- 2023年05月「第132回日本補綴歯科学会歯科技工セッション コマーシャルラボにおけるデジタルデンチャーの臨床応用」
- 2024年07月「第55回 Denture Cafe 義歯技工のデジタル化で見えてきたこと これからの課題」

■講師略歴

小川 淳

[おがわ あつし]



- (株)シンワ歯研 本社所長

略歴

- 1996年 新潟大学歯学部附属歯科技工士学校 卒業
- 1996年 (有)クオリス勤務
- 2004年 (株)シンワ歯研勤務
- 2000年 IS dental TGU セミナー修了
- 2023年 S.T.F Digital Academy 修了
- 2025年 東京SJCDレギュラーコース受講

- 日本顎咬合学会認定技工士

主な著作

- 2018年1月歯科技工「ストップ・離職! 人材育成三要素のうち人について」

- 2018年2月歯科技工「ストップ・離職! 人材育成三要素のうちシステムについて」
- 2018年3月歯科技工「ストップ・離職! 人材育成三要素のうち環境について」
- 2018年12月歯科技工別冊「5年目までに押さえておきたい67のポイント」(共著)
- 2020年12月歯科技工「自律的な社員を育成する仕組み目標管理」
- 2022年5月歯科技工別冊「デジタル技工入門61のポイント」(共著)
- 2022年2月歯科評論「口腔内スキャナーの現在位置」(共著)
- 2022年3月歯科評論「口腔内スキャナーで変わる歯科医師との関係性」(共著)
- 2024年11月・12月 歯科技工「インプラントライブラリーを使用した上部構造製作の問題点と対策」

する際のスキャンボディ、②ラボサイドで製作する3Dプリント模型、③アバットメントの形状と材質の選択(スキャンボディに紐付いたチタンベースが第一選択肢)において問題が発生することが多いと感じている。

そこで本講演では、上記のステップにおける問題点を抽出し、その対策として活用している「コンバートテクニック」について紹介したい。日々の臨床に役立てていただければ幸いです。